議会広報 No.130 平成22年9月1日 しまる人



夏だ、プールだ、すいか割りだ~!!

第5回(6月)定例会	補正予算······	2・3ページ
第5回(6月)定例会	一般質問・議案概要·············	4~7ページ
特集:追跡 ありや し	\ちゃなてぃうよ~	8・9ページ
議会の活動		10ページ

平成22年第5回 6月定例会

平成22年第5回(6月)定例会を、6月8日、1日間の会期で開きました。 本定例会では、平成22年度一般会計及び特別会計補正予算案をはじめ、 議員提出の決議案など15件の議案を審議し、すべて原案のとおり可決しま した。(審議結果の概要は7ページをご覧ください。)

また、開会初日には一般質問が行われ、3人の議員が村の対応や考えを 問いただしました。



▲現在の真謝区公民館(昭和57年竣工)

答 国土交通省の補助で実施する 本事業は、道路側溝の改修工事が 対象である。老朽化などで欠けた 対象である。老朽化などで欠けた 対象である。 問 東江上から西江上のバス路線の道路の拡張を望む意見がある。の道路の拡張を望む意見がある。

補正予算質疑

6月補正予算

真謝区の新公民館整備費を予算化

6月定例会の補正で、一般会計予算に2億7,038万4 千円が追加されました。

主に平成22年度SACO交付金^[※1] 2 億1,800万円の計上による増額です。

この交付金は、真謝区の新公民館整備費、ゆり球根 の冷蔵保管施設整備費、老朽化した具志冷凍施設の改 修工事費等に使われます。

また今回、事業の見直しに伴い、県補助金の防風林整備(西部西地区・西崎地区)事業費が1億5,440万4 千円減額されております。

○ 平成22年6月補正予算一覧表 ○

会計名	補正後の予算総額(補正額)
一般会計	48億5,538万4千円 (2億7,038万4千円)
診療所特別会計	1億6,324万8千円 (1,224万8千円)
国民健康保険特別会計	9億9,705万1千円 (1,805万1千円)
老人保健特別会計	936万円 (914万8千円)
後期高齢者医療特別会計	5,565万8千円 (165万8千円)





▲改修工事が行われる漁協の冷凍·冷蔵施設 (左) と製氷所 (右)

含め除る う整備していく予定である。 前のように急速冷凍ができるよ 漁協組合の要望等も聞きながら、 老朽化(冷凍施設の機 湿機 やポンプ等の 0 著 能 を改善する。 シャ 整備 ツ 夕 を を

その整備も検討できないか。
により全く稼働していない現状だ。製氷所側の急速冷凍庫は老朽化は、シャッターのみの改修なのか。

【※1】SACO交付金・・・日米特別行動委員会(SACO)で合意された在沖米軍基地の移設等を受け入れた市町村に対し、公共施設の整備を行うための費用として交付される。本村は同合意により、平成11年に読谷補助飛行場のパラシュート降下訓練の移転を受け入れている。



平成23年度完成予定の堆肥センター

何

漁協と調整しながら進めていく。 月ごろか。 日程は確定していない。 中 層型浮 漁礁の 設置時期 今後、 は

研修をさせる計 調 け う いる農家と、 は 整、 があると聞くが、 飼料を与えると、 質は異なると思う。 いる農家があり、 配布したい。 取ることができるのか。 和 牛 情 牛 0 飼料を農協から購 農協以外から購入し

同じ飼

料を受

演に対して、

の助成が得ら

下

それぞれ飼料

入して

牛に質の違 痢をするこ

3

月

定

改良組合、 報を聴取 L ながら農家に 農協あたりと

であった。

今 回

上されていない

が、 I の 補

助 正

成はもらえ 予算には

計

かっ

たのか。

いたが、 していたが、 象に該当するのではないかと申 力ある地域づくり支援事業」 域活性化センター 助成金300 回の 得られなかった。 関 |東公演 4月に不採択となっ 万円を見込んで が実施する 財 の対活 請 地

2 4 内訳は。 するということだが、 合計30 4 頭、 蹄 8 疫 成牛39頭、 頭に飼料2袋分を助成 助 乳牛25頭、 その金額 成 金で子牛

するのか。

設計

施

工段階から責 向させて運営 をとるの

言われている。

その辺

0

調

査、

検

はされて

いるか。

完成後すぐ稼働するのは難しいと 任者を配置して取り組まないと、 役場から責任者を出

指定管

理者制 ター

か、

堆

成

後

0)

管

理

体

計上している。 また、今後の予備として78万円を $\frac{3}{4}$ $\frac{0}{0}$ 1 2 5 0 1 子 2 8 1 円、 牛に 円 配布する飼 合計78万円余である。 乳牛は25頭分で6万 成牛の気 飼料は 料単 価 は 袋 1

るのか、

完成

後の運営を業者に委託 村営でやるのか検討して

す

いる最中である。

今後、

担当

職

員

を与論町あたりに派遣して、

3 力

で進めている。 ないし半年間の



関東近隣の伊江村郷友ら約1,000人の観客が訪れ、立ち見が出 るほどの大盛況でした。

見会館で行われる伊江島の 島城会20周年を記念して横浜 れそうだという説 例議会で、 国から300 関 対踊 万円 東 ▲関東伊江島城会20周年記念公演(平成22年7月11日) 市 伊 明 程 公 鶴 江

繰越事業 平成21年

何らかの理由で年度内に事業が完了できない場合、 議会の議決を経て翌年度に繰り越して経費の支出を することができます。

次の12事業 (総額:16億468万1千円) は、平成 22年度に繰り越して引き続き実施されております。



▲落成間近の阿良区の新公民館

地域活性化・経済危機対策事業	472万5千円
瞬時警報システム整備工事	838万円
子ども手当準備事業	350万円
特産品加工施設(黒糖工場)整備事業	12億6,883万9千円
団体営農地保全整備事業(西部西地区)	6,302万6千円
元気な地域づくり交付金事業(渡り地地区)	3,776万4千円
村づくり交付金事業 (伊江地区)	4,850万円
障害防止対策(用水対策1号溜池)事業	2,843万円
浮漁礁漁場整備事業	475万円
阿良地区集会施設整備事業	1億840万7千円
教員宿舎改修工事	2,316万円
村立小中学校施設改修工事	520万円

村政を問う」

セリ中止による農家への支援は

村長/5月セリ市申込牛に飼料補助

島袋 義範 議員

さんの姿をテレビで拝見す ると思う。 処分を決定した。これまで 10 において過去最悪の被害に 染する口蹄疫が発生してか し悲壮感にくれる農家の皆 心情はただならぬものがあ 畜が処分され、 手塩に掛けて育ててきた家 発展している。 lk m以内の牛・豚の全頭 約2カ月が経過し、 伊江島牛を全国にピ 家畜の処分に涙 国は、 畜産農家の 半径 国内

施されている。

トを設置し、

防疫対策が実

宮崎県で牛や豚等に感 空港、 答これまで国においては、 部が設置されている。 4月20日に農林水産大臣を おいては、 本部長とする口蹄疫対策本 那覇港に消毒用マッ 那覇空港、 県に 石垣

した。 に車両のタイヤ、 ら消毒用消石灰の支給があ 月6日から14日の間に県 村内での防疫対策は、 村内全畜産農家に配布 5月13日に伊江港内 靴底の消 5 か

思えない。 る本村としても他人事とは を農業の大きな柱としてい アールし、 肉用素牛生産

内家畜セリ市が中止され、 これまで国、 本村のセリ市も中止となっ ような対策をとってきたの 飼料代がかさみ畜産農家は 経済的な打撃を受けている。 た上に、セリ開設までの 口蹄疫の影響により、 子牛の出荷ができなく 収入が得られなくな 県、 村はどの 県

39 283頭が上場の予定であ 頭、 5月セリ市には、 子牛244頭、

ては、 制の整備を実施し、 向けて取り組んでいる。 及び県内各市場とも防疫体 する予定である。 協議され、6月11日に決定 6月セリ市の開設につい 沖縄県JA中央会で 各県市場 開催に

るのか。 損害に対する補償はどうな 損害額の見込みは。 セリ 市中止による農家 その

消毒用マットを設置し、 3日には本部港にも同様の 蹄疫の侵入防止に努めてい 毒用マットを設置し、 6月 П

る

状況と、 の見通しはどうなっている 5月セリ市の申し込み 6月セリ市の開設

成牛 合計

ように、 農家の皆さんが長く、 が延期されると、このサイ 費に回している。 うな家畜感染症が発生する なっているか。 じなければいけないのでは して畜産経営が継続できる 代の支払いも滞ってしまう。 クルが壊れてしまい、 リでの収入を飼料代等の経 畜産農家のほとんどは、 た努力が無になってしまう。 十分な助成策を講 今後の対策はどう

答 対策を講じていきたい。 JAや県の動向も見ながら セリ市開催の見通

助成については、本議会で 推測される。 飼料を補助する予定である。 料代だけで約152万円と を合わせて計283頭の飼 5月セリ市の申込牛に飼料 補正予算を提案しており、 答損害額は、 乳牛には専用ミルクと 損害に対する 成牛と子牛

畜産経営は、 短期間で長年培ってき 今回のよ 1回セリ 安心 飼料 セ



毒する関係者) れました。 (写 7月4日、徹底した防疫体制の で2カ月ぶりに牛セリ市が再開 (写真 搬入車両を消

問の本村農業の柱である畜 産業は、 にも増して厳しい経営状況 去る3月定例議会では、 今回の問題で以前

とで、 0 む意見があった。 生産奨励補助金の再開を望 があるのではないか。 た補助金等を再開する必要 畜産農家への支援というこ 皆さんが安心して畜産経 一今後においても、 多くの議員から子牛 そうい

営を営めるように努力をし

ここが聞きたい

子牛セリ価格 落時の 助成策はあるか

村長/県内市町村の 動向を見て判断

農協の施策はどのように 援策について、 農家の経営と生活への支 6月セリの開催も危ぶまれ、 なっているか。 生活の不安が高まっている。 畜産農家の経営の維持と 国

今 の強化等の要請を行った。 粛の呼びかけ、防疫業務 頭数の調整、早期出荷自 過ぎた牛への支援、 会に対し、 **答** 5月 村会で県当局とJA中 後の状況を見ながらJ 疫体制を講じているが、 県も様々な農家支援策、 21日に北部市 出荷適齢期を 出荷 央 町

市は、 催時の子牛の価格が平年用すること。7月セリ開 すべきだと思うが、 もこのような施策を実施 討中ということだ。本村 援金として出すことを検 差額の一部を市が出荷支 に比べ大幅に下落した場合、 費の一部助成 る予定だった購買者の旅 はどう考えるか。 6月セリで実施す を7月に適

分され、

戦後最大の

被害だと言われてい

大し、18万頭余りが殺処感染被害は2市5町に拡

確認された。

それ以後も

口蹄疫と疑われる家畜が 日に宮崎県で口蹄疫及び たのもつ

かの間、

4 月 20

り

農家に笑顔が戻っ

|単価が約3万円値上が

去る4

月

セリでは

きたい。 県内市 負担の軽減 がら協議し、今後の農家 差額の助成については、 町村の動向を見 策を図って な

業が肥育牛を本土に出荷 しているのに、子牛の出 荷ができないのはおかしい。 一「八重 一山では本土 企

授業料

額免除でも

24万円の仕

教育長/県に対し

いた子牛に対し子牛用飼 セリ市に上場を予定して 合等と協議していきたい。 A伊江支店は、5月 和牛改 良 とい に出荷されているという八重山から肥育牛が本土 のは事実か。 う農家の

月

セリ中止に引き続き縄県内においても、

伊

江

声

が

あ

る。

J

生体を出荷しているそうだ。 事 実 企業が本土に

疫防疫対策助成金を本議 村の支援策として、 料2袋を無償配布している。

口蹄

会に提案している。

報道によると宮古島

た場合、 考に実際のセリ値との差 子牛が月齢を重ねること つからいつまでのことか。 を検討しているというが、 額を補てんする」救済策 によってセリ値が下落し 過去の実績」とは、 県は、 過去の実績を参 「セリが休止し、

題が長引くのか、決めておらず、口 動向を見て検討するとい うことだ。 県もまだ具体的には 口蹄疫問 今後の

思う。 されることを願っている。 改善すべき課題はあるといかと心配されており、 ある世帯と、より一層教とっては、経済的余裕の 育格差が広がるのではな 恵はなく、 いた生徒には無償化の恩 まで授業料免除を受けて 今 回

除を受けていた家庭に 免除制度は、これまで免 あるが、今回の一律全額 業料が全額免除になった。 何の恩恵もない。 策として良い施策では 育費の保護者負担の 年 4 いから高 は 軽

ない で授業料免除を受けてい を県に求めてい に対する教育費負担軽減 高 対し助成すべきだと思う。 た生徒や自宅外通学者に くのであれば、前年度ま だという。この予算が浮 っていた予算は4億円台県の授業料免除にかか 校のない離島の保護者 か。 くく考え は

残さな

4

教育費

も

新たな支援制度が構築 生徒へ国または県独自 本当に支援が必要 低所得世帯に

得世 免除され

帯

しても、 対策が望まれる。 の負担を将来に しくなっており、 学金を返していくのも難 できず、卒業してから奨 最近は高校や大学を卒業 て 授業料がすでに 仕送りしているのが現状だ。 いる家庭では、月24万円 いても、 島では低所 なかなか就職 高校生が2人

等にも、 を 本気でやる気になり行 も 育費の負担の現状を知 て て県に要請していく方法 てもらい、その会を通 ある。 いけるのではない 教育長会や離島 起こせば、 教育長 離島における教 県を動 や村長が 振 か。 興会 か 動 し つ

にも、 し合い、一丸となって県 離島の教育長たちとも話 らば、それは本望である。 制度が県で構築できる 対し要請ができるよう 授業料の 返済不要の奨学金 無償化以 な

体策は 検 件策はないが、現 討したい。 前 段階で具 向 きに

ような内容で支援要請 県に対してどの 0 制度は、これ

支援要請を検討

ここが聞きたい 村政を問う一

崎県に入る 買者を 招致しては

村長/JA伊江支店 と協議し対応

た場合、

さらに農

. 込ま

ñ

る 危

まり、

月臨時セリ市開催が

つあ

る時期に、 一の向

このよう

管理

上 が

7図

れつ

の北海岸にあ

るウ

車や自

伊平

-屋島、

渡 崎

送られ と推測される。 機的状況に追い 家経営は行き詰 な事態は誠に深刻である。

はなく、 場や市町村個々の対応で 講じているが、 するなど、 誘 通支援要請ができないか。 協議会等の開催により統 一した見解をもって、 致するため旅費を助 宮古島市では購買者 県家畜市場連絡 独自 各セリ市 の対策を 成 を

となり、

次から次へと生

進会や5月 である。

セリ市が中止

円とも言われ莫大な被害

本村でも子牛共

その被 1崎県で

害は П 蹄

億 発

宮

疫 一千 が

営面に

おいても資金繰り

て認定を受け、

個

四々の技

優良子牛の拠点産地とし が乏しく大変憂慮している。

支店に

答

J

A 伊江

らあふれ出す懸念と、 まれてくる子牛が牛舎か

経

松阪牛 牛などの産地で、 牛舎からもあふれ出すが、 購買者が宮崎の子牛を買 を出荷するので、 生産農家は牛が売れずに それだけの子牛が供給さ ド牛として肥育されている。 っていき、 ない 育農家は、どんどん生 宮崎 状況である。子牛 (三重県) 県 それがブラン は あ 0 各地の 逆に牛 や佐賀 有名な

ウツガマ海岸周辺

商工観光課長/将来に向け

総合的な検討を重ねる

を新たな

コーラル敷ではあるが

観光スポッ

竹保

議員

内岡

いて、 八重山 肉牛生産振 で構成されている沖縄県 のことである。 支援要請を行 会が随時 牛改良組 認 したところ、 5 月 地区 開催され、 合の 興協議会に を除く同協議 26日に宮古・ って ある地 いくと 現 共通 在 お 域

県の 伊江支店と協議し、 ち2業者が新規で購買に も予想される。 口 も新規の購買者が増える の状況によっては、 来る予定である。 能性もあり、 合わせがあり、 現 在、 数業者から 今後の国、

あると思う。 招致する考えはないか。 重県や佐賀県の購買者を 催できないのではないか。 宮崎県では、 でセリ市が再開されても、 舎が余ってしまう立 今回、 宮崎県に入る三 しばらく開 もし沖 場に 問 利島、 是名島、 ツガマからの景観は、 玉

していきたい。 動向を見ながらJA 減ること 宮崎県 そのう 今後 対応

がいい。 今 という意見も多く、 そこへ案内するが、 民泊の子どもたちを必ず ことができ、 整備する考えはないか。 して整備することにより、 そこに展望台などを設置 がされていない状況である。 1 場所はウツガマである」 江島の一番印象深かった トとして期待ができるが 現在、 スはあるものの、 頭 (村の辺戸まで見 本部町の備瀬 新たな観光スポッ その 絶景である。 場 所はスペ

評判

きている場所でもある。 ろであり、 けているが、少しずつ防 度となく樹木の被害を受 の整備を進めているとこ 質問 林として機能を整えて 造成整備事業で防風 成5年度から海岸防 」ウツガマ海岸の周辺は の場所は、 台風により幾

伊 整備 防風 おり、 たい。 段階では整備の予定は 作に置かれている場所や、 コーラル等の残土が無造 対策を施したい。ま ままでは危険なので安全 配になっており、 合的 も含めて将来に向けて 11 整等に時間を要する。 新たな整備をするには 地と村有地になっており、 分にある。 とができるスペースも十 しが、 たいと思う。 し かし、 の水たまり等は直 な検討を重 林対策等が行われ また、 今後の防風林対策 転車等をとめるこ その場所は現在、 北 用地が国 側は ね 現 急こう 7 た、 状 41 総 な 現 調 ▲ウツガマ海岸周辺 0 き



議案等の概要と審議結果 第5回定例会 平成22年6月8日

議案番号	件名	概 要	結 果
承 認 第1号	専決処分した伊江村税条例の一部 を改正する条例の承認を求めるこ とについて	地方税法等の一部改正に伴う条例改正。平成22年10月1日から 市町村たばこ税の税率が引き上げられることに伴う改正等。	承 認 (全会一致)
承 認 第2号	専決処分した伊江村国民健康保険 税条例の一部を改正する条例の承 認を求めることについて	地方税法等の一部改正に伴う条例改正。倒産や解雇など自ら望まない形で職を失った者(非自発的失業者)に対し、一定期間、 国民健康保険税の軽減を図るための改正等。	承 認 (全会一致)
報 告 第2号	平成21年度伊江村一般会計繰越明 許費繰越計算書	12事業を平成22年度に繰り越して継続実施する。 3ページ参照	報告
報 告 第3号	平成22年度沖縄県町村土地開発公 社事業計画の報告について	平成22年度の事業計画に関する報告。	報告
議 第38号	平成22年度伊江村一般会計補正予 算(第1号)	現在の歳入歳出予算総額に2億7,038万4千円を増額。 2~3ページ参照	原案可決 (全会一致)
議 案 第39号	平成22年度伊江村診療所特別会計 補正予算(第1号)	現在の歳入歳出予算総額に1,224万8千円を増額。主に前年度の 決算見込みによる増。	原案可決 (全会一致)
議 案 第40号	平成22年度伊江村国民健康保険特別会計補正予算(第1号)	現在の歳入歳出予算総額に1,805万1千円を増額。主に前年度の 決算見込みによる増。	原案可決 (全会一致)
議 案 第41号	平成22年度伊江村水道事業会計補 正予算(第1号)	補正額0円。人事異動に伴う収益的支出の予算組み替え措置。	原案可決 (全会一致)
議 案 第42号	平成22年度伊江村老人保健特別会計補正予算(第1号)	現在の歳入歳出予算総額に914万8千円を増額。主に前年度の決算見込みによる増。	原案可決 (全会一致)
議 案 第43号	平成22年度伊江村後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	現在の歳入歳出予算総額に165万8千円を増額。主に前年度の決算見込みによる増。	原案可決 (全会一致)
議 案 第44号	伊江村畜産担い手育成総合整備事 業分担金徴収条例の制定について	畜産担い手育成総合整備事業の実施にあたり、村が事業参加農家から分担金を徴収するための条例制定。徴収された分担金は、村から(財)沖縄県農業開発公社へ支払われる。	原案可決 (全会一致)
議 案 第45号	伊江村特産品(さとうきび)加工 施設機械器具設置工事請負契約に ついて	契約の方法 指名競争入札 契約金額 10億6,312万5,000円 契約の相手方 沖縄オートメーション(株)・(1)南工業 建設工事共同体	原案可決 (全会一致)
議 業 第46号	伊江村沖縄県証紙購入基金の設置 及び管理に関する条例の一部を改 正する条例	県証紙の基金の額を「100万円以内」から「200万円以内」に改める。県から旅券発行業務の事務移譲等に伴い県証紙の需要増が見込まれるため。	原案可決 (全会一致)
議 案 第47号	伊江村教育委員会の委員の定数を 定める条例の全部を改正する条例	地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部改正に伴う条例改正。教育委員の定数「3人」を「4人」に改める。委員のうちに保護者を含めることが義務づけられた。	原案可決 (全会一致)
決 議 第9号	米軍普天間飛行場の早期閉鎖・返還を求めるとともに、県内移設に反対し、国外・県外移設を求める 要望決議	SACO合意の「普天間飛行場条件つき返還」は、新たな基地の県内移設に他ならない。県民の生命・財産・生活環境を守る立場から、日米両政府に対し、普天間飛行場の早期閉鎖・返還と、県内移設を断念し国外・県外に移設することを要望する。	原案可決 (全会一致)

伊江村議会ホームページで最新情報を!

http://www.iejima.org/iegikai/

詳しくは・・・ 議会の内容をさらに詳しく知りたい方は、 各区公民館、中央公民館図書室、村議会ホ ームページで会議録をご覧ください。

あいや いちゃおていうよ





議員が行った質問や提言は、村政に反映されているのでしょうか? 村当局が議会で「検討する・対処する」と答弁したことを追跡す る「ありや いちゃなてぃうよ~」コーナー。

今回特集として、これまでの質問の中から数点ピックアップし、 その後の経過を追ってみました。

子牛生産奨励金の復活は



問 長引く不況の影響等で子牛セリの安値 が続き、畜産農家の経営は非常に厳しい。 子牛生産奨励金を復活できないか。

その後 平成22年度に高齢母牛の買い替え を促す目的で優良繁殖雌牛更新事業助成金 が新設されましたが、全畜産農家に該当す る助成制度ではなく抜本的な解決策にはな っておりません。

平成20年度に廃止となった子牛生産奨励 金は、まだ復活されていません。

人工诱析治療を村内で



問 人工透析患者とその予備軍が年々増え ている。透析患者は、台風や時化等でフェ リーが欠航すると通院のために何日間も島 外での宿泊を余儀なくされ、身体的、経済 的負担が大きい。村の診療所で人工透析の 治療が受けられるようにできないか。

その後 医師・医療スタッフの確保が難し く、実現に至っておりません。

フェリー欠航時の宿泊費助成や通院のた めの船賃助成を行うなど、一定の進展は見 られます。



▲ハイビスカス園芸ハウス

中層型パヤオの導入は



問 村水産業は資源の減少、燃料の高騰に より漁家の経営は厳しい状況が続いている。 漁家の安定した所得向上のため、年次ごと にパヤオ (浮漁礁) の設置助成や中層型パ ヤオの設置導入ができないか。

その後 平成18・19年度に漁協へ表層型パ ヤオ2基分の設置助成がされています。平 成21年度から国・県の補助により中層型パ ヤオ2基の設置事業が進められています。



▲人工透析治療施設

ハイビスカスを村花木に



問 平成21年5月にオープンしたハイビス カス園芸ハウスには、日本一を誇る1,000 品種のハイビスカスが展示され、ハイビス カス祭りも定着してきており、テッポウユ リと同様ハイビスカスは、伊江島のPRに 欠かせない存在となっている。村花木にハ イビスカスを追加しては。

その後 平成22年3月、サルスベリに次い で、ハイビスカスが村花木に制定されまし た。



▲AEDを使用した救命処置の講習会

村出身高校生への船賃助成を



問 高校生を持つ保護者に対する教育費負担軽減のために、村出身高校生に対する船賃助成はできないか。

その後 平成21年度から年間1人10回分の 船賃が助成されています。

練習試合にも船賃助成を



問 近年、小中学生が各スポーツ大会等で優秀な成績を残しているが、村外での練習試合は自己負担となっており、保護者の負担も大きい。人材育成の面からも船賃を助成すべきでは。

その後 これまで大会参加時の船賃助成は ありましたが、平成21年度から村外での練 習試合等にも船賃助成がされています。





▲大型側溝のふたかけ整備前(上)と整備後(下)

学校や港にAED設置を



問 AED (自動体外式除細動器)が役場 庁舎、B&G、旅行村、城山に設置されて いるが、各学校や港、フェリーにも設置す る必要があるのでは。

その後 設置場所が増えました。現在、役場庁舎、B&G、旅行村、城山のほか、3学校、各区公民館、改善センター、教育委員会、伊江港ターミナル、フェリー2隻に設置されています。

太陽光発電で経費節減を



問 平成20年度から各学校の校舎改築工事が始まる。電気代の節減、子どもたちの環境教育のため、改築に並行して校舎屋上に太陽光発電装置を設置できないか。また、公共施設の維持管理費軽減の観点から、公民館などにも同装置の設置を検討できないか。

その後 平成21年度の国の経済危機対策事業を活用し、伊江中学校新校舎、阿良区新公民館の屋上に太陽光発電装置が設置されています。



▲伊江中学校校舎のソーラーパネル

大型側溝のふたかけ対策は



問 阿良区の居酒屋「まろ」の西側から南に下る大型側溝は、ふたかけがされておらず、悪臭を放ち環境・衛生面に悪い。また、 側溝を挟んで傾斜して畑があり、耕作者の安全面、土壌流出防止の面からも早急な対策が望まれる。地域の関係者も村に改善するよう要望したそうだが、いまだに改善されていない。対処する計画はあるのか。

その後 平成21年度の地域活性化・経済危機対策事業で同側溝のふたかけ整備が行われました。

議会の活動

平成 22 年 6 月

- 3日 議会運営委員会、議会広報調査特別委員会
- 8日 第5回定例議会
- 10日 太陽の花伊江支部総会(議長)
- 14日 県防衛協会北部支部懇親会(議長)
- 15日 海神祭(議員)
- 17日 村学力向上対策推進大会(議長、副議長)
- 20日 イージマ郷友会総会(議長)
- 26日 伊江島観光協会総会(副議長)
- 27日 伊江村郷友会総会(副議長)
- 29日 村観光統計実態調査報告会 (議員) 伊江漁協総会(議長)



▲海神祭

平成 22 年 7 月

- 1日 北部市町村議会議員・事務局職員研修会 (議員)
- 7日 村青少年健全育成協議会総会(議長)
- 8日 村婦人の主張大会(議員)
- 11日 関東伊江島城会20周年定期総会・懇親 会・伊江島の村踊公演(議員)
- 15日 北部市町村議会議長会第2回定例理事 会・総会(議長、局長)
- 22日 村フェリー建造検討委員会(議長、経公委員長)
- 23日 北部振興会評議員会・総会、北部市町村 議会議長会臨時理事会(議長)
- 27日 介護保険広域連合研修会及び議会運営委 員会(友寄議員)
- 28日「美ら島沖縄総体2010」総合開会式(議長)
- 30日 JAあきなわ総代会報告会(議員)

31日 村和牛改良組合総会(議長、経公委員)



▲関東伊江島城会20周年総会

平成 22 年 8 月

- 1日 名護市制40周年記念式典・祝賀会(議長)
- 6日 JA謝恩夏まつり(議長)
- 7日 第18回チャリティーなつメロの夕べ (議員)
- 12日 奄美・やんばる広域圏交流推進協議会 (議長)
- 13日 県町村議会正副議長·正副委員長研修 会(正副議長、総務、経公正副常任委員長)
- 18日 議会広報調査特別委員会
- 19日 県市町村総合事務組合議会定例会(議長)
- 20日 北部地区婦人の主張大会(議長)
- 25日~26日 全国町村議会広報研修会(島袋議員)
- 26日 北部広域市町村圏事務組合議会定例会(議長)
- 27日 村畜産共進会(議員)
- 31日 JA伊江支店園芸生産組合総会(議長)

次の定例会は9月15日(水)開会予定です。

傍聴を希望される方は、 お気軽に議会事務局まで **TEL49-2924**(直通) お問い合わせください。

やっています!

役場庁舎1階、各区公民館、3学校 など、村内の公共施設に設置されたパソコ